

表2-2-11 小学校新採用教員の地区別配置状況

(単位：人，%)

項目	地区			計
	A	B	C	
配置人数	88	214	113	415
配置率	21.2	51.6	27.2	100

注：1. 「義務教育課調査」(昭58)による。  
 2. A地区は市・主要町村の学校，C地区はへき地の学校，B地区はA地区及びC地区以外の学校である。  
 3. 配置率 = (地区別新採用教員数) ÷ (新採用教員数) × 100

(2) 教員構成

昭和58年度における小学校教員の男女別構成比を見ると，男子が52.5%，女子が47.5%となっており，男子の占める割合がわずかながら逐年増加している(図2-2-9)。

次に，小学校教員の年齢別構成比を見ると，昭和58年度において最も人数の多いのは，50歳から54歳の教員で全体の23.6%を占め，次いで25歳から29歳の教員が15.2%，45歳から49歳の教員が15.1%となっている(図2-2-10)。

したがって，今後は，各学校の教員の年齢構成が，学校経営に及ぼす影響等を検討し，男女別，年齢別構成等を考慮した適正な教員配置に努める必要がある。

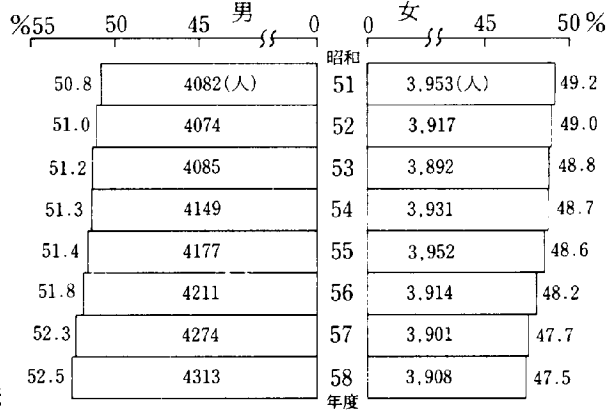
(3) 事務職員の配置

標準法に基づく事務職員定数は，100%確保し配置してきている。一方，学校別に見た場合，本校数に対する配置率は，昭和51年度において38.8%であったが，昭和58年度においては86.2%と47.4ポイントの増加となっている(表2-2-12)。

昭和55年度から昭和58年度までの事務職員の配置状況を見ると，7学級以上の学校には完全配置を行うとともに，へき地等で6学級未満の学校にも教育諸条件を勘案しながら配置してきている。

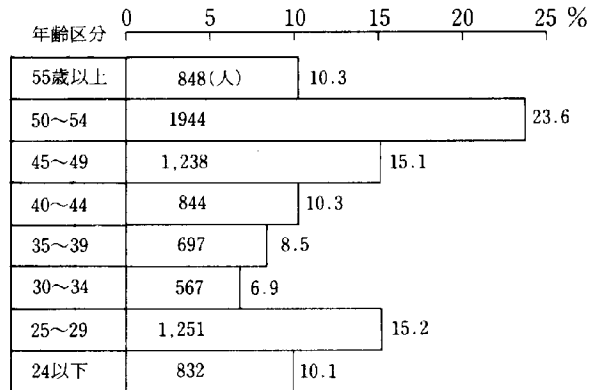
今後とも，標準法による定数を確保するとともに，定数の改善について国に要望しながら適

図2-2-9 小学校教員の男女別構成比の推移



注：1. 「学校統計要覧」(昭51～昭58)による。  
 2. 教員数は，公立学校の校長，教頭，教諭の合計である。

図2-2-10 小学校教員の年齢別構成比



注：1. 「義務教育課調査」(昭58)による。  
 2. 教員数は，公立学校の校長，教頭，教諭の合計である。

表2-2-12 事務職員の配置状況

(単位：校，人，%)

項目年度	本校数	人数	配置率
51	567	220	38.8
52	562	241	42.9
53	561	319	56.9
54	561	392	69.9
55	553	456	82.5
56	552	466	84.4
57	554	468	84.5
58	552	476	86.2

注：1. 「学校統計要覧」(昭51～昭58)による。  
 2. 配置率 = (事務職員数) ÷ (小学校本校数) × 100